

メディアと選挙 ファクト整理

- 1840年代～
政党と新聞社が結びつき、選挙公報活動はじまる
- 1890年代～
選挙運動に電話利用はじまる
- 1930年代～
ラジオ利用はじまる
- 1960年代～
テレビ利用はじまる
- 1994年
最初の選挙関連ウェブサイトが出現
- 1996年以降
選挙運動のウェブ利用増加の一途
→ 71%の上院議員候補、68%の下院議員候補、68%の州知事候補が選挙ウェブサイト構築（2006年現在）
- 1996年から1998年にかけて
印刷物をつくる機能をオンラインで配布（brochureware）
- 1998年のミネソタ州知事選挙時
Jesse Ventura陣営
- 2000年の大統領選
Ralph Nader陣営 brochurewareとCM配布
John McCainサイトのWeb-directed phone bank
- 2004年の大統領選
John KellyサイトのOnline Headquarters

インターネット選挙に関する先行研究

Kristen A. Foot and Steven M. Schneider,
Web Campaigning, MIT Press, 2006

- オンライン構造（リンク、テキスト、コードなどの集まりでできている）の集まりがウェブ圏（Web Sphere）
- 選挙にかかわるオンライン構造は、オフライン構造（実世界のさまざまな要素を含む）とともに、選挙アリーナに含まれる
- informing, involving, connecting, mobilizingの4要素で分析

Involving

Chat, 掲示板、ブログ機能等は、2002年までは少数派
2004年の大統領選挙の予備選挙までにはブログ導入は選挙サイトの主流に
2003年3月にDean陣営が書き込みは不可能なブログ導入 → 3ヶ月後に書き込み可能ブログに変更 → 盛況に

Mobilizing

Web選挙活動においては、有権者に地域や職場やローカルのメディアなどで、候補者のプロモートするように仕向けることを指す

アーカイブの存在

1. Internet Archive のWayback Machine <http://www.archive.org/>
2. Library of Congress の MINERVA <http://lcweb2.loc.gov/diglib/lcwa/html/lcwa-home.html>

オバマ選挙サイトの変遷

- 大統領選出馬決定時に1回目の大改良（2007年2月） informing要素の新メディア、involving要素拡大、MyBO登場
- スペイン語サイト開始（2007年5月）
- 最初のPodcast（2007年6月）
- ケータイサイト開設（2007年6月）
- 他のSNS等へのリンク、徐々に拡大（2007年9月以降）
- 予備選の山場に2回目の大改良（2008年1月） Obama Everywhereへ
- アーカイブ拒否へ（2008年2月）

特徴

Informingに新しいメディアを追加

Involvingの徹底

Mobilizingの展開

SNS、YouTubeでの有権者コンテンツ展開

- BarackObama.comで2327ファイル
（小さな州政府規模のページ数）
- My.barackobama.comで5万ファイル以上
（解析が一日かかっても終わらない規模）

まとめ

- 「インターネットは政治情報源としては一般化。しかしテレビが依然として主流」
Annenberg Public Policy Centerのサーベイ（2008年3月28日プレスリリース）
- 間メディア性の活用

